

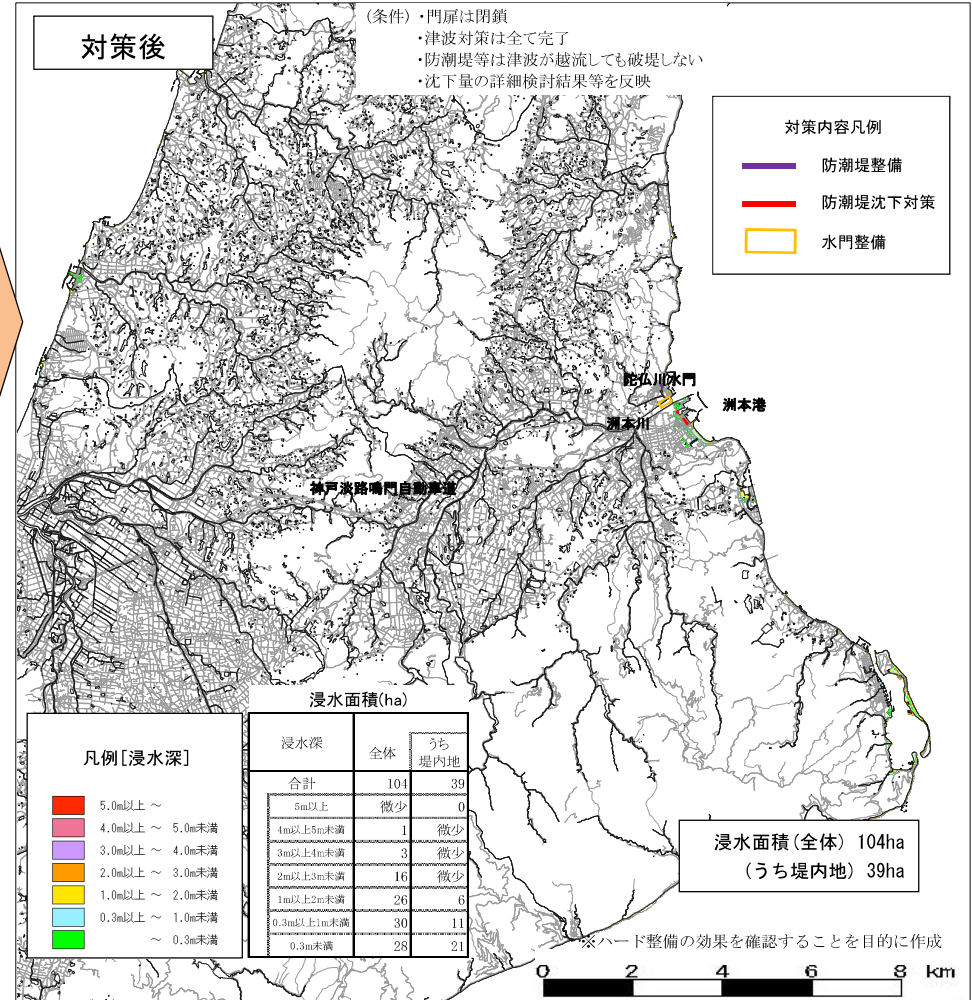
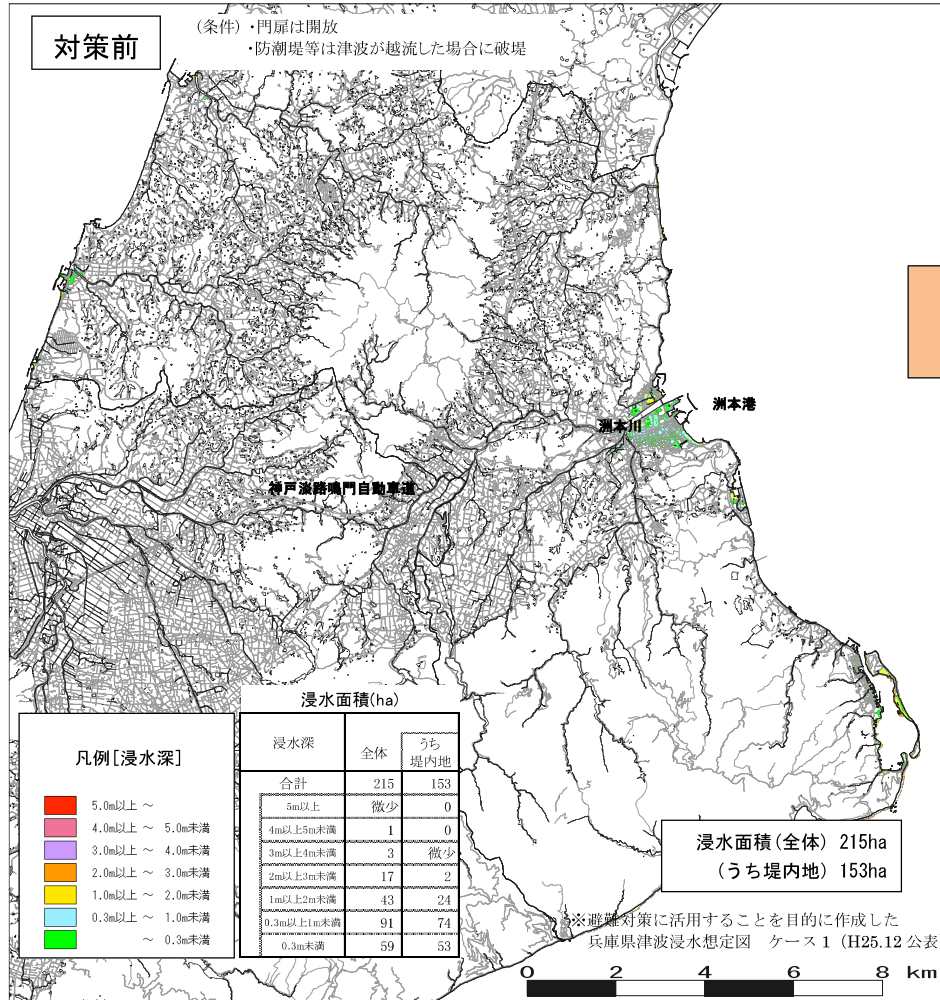
津波浸水想定図〔洲本市〕(L2 津波)

<効果>

○堤内地の浸水面積を約8割縮減(153ha→39ha)

<津波対策>

- ①防潮堤の越流対策(基礎部の洗掘対策) 0.7km
- ②防潮堤の沈下対策 0.2km
- ③水門整備 1基
- ④防潮堤の整備(洲本市施工) 0.2km



【留意事項】

- ・最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- ・実際の災害では、局所的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算結果と異なる状況が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。
- ・整備の実施にあたっては、改めて地質調査等を実施して、工事区間や工法等を決定します。